

1, 耐久性を確保する法的基準は次の通りです。

(1) 建築基準法に基づく基本計算 (自然換気)

建築基準法 (施工令第 22 条) で定められた最低限必要な換気面積の計算ルールです。**基準ルール:** 外壁の床下部分には、壁の長さ 5 m 以下ごとに、300 m<sup>2</sup>以上の換気孔を設ける必要がある。

■計算式: (床下換気孔の総面積)  $\geq$  (床下外周の壁の長さ  $\div$  5)  $\times$  300 m<sup>2</sup>

(2) 品確法・長期優良住宅の計算 (床面積比)

湿気対策をより厳密に行う長期優良住宅などの場合、床面積に対する割合で計算します。**基準ルール:** 床下有効換気面積は、床面積の 1  $\div$  300) 以上。

■計算式: 必要換気面積 (平方センチ) = 床面積 (m<sup>2</sup>)  $\times$  10,000  $\div$  300 m<sup>2</sup>

(3) 基礎パッキング工法での計算 (換気スリット)

従来の換気口ではなく、基礎と土台の間にパッキンを挟む工法 (キノパッキング工法など) を採用する場合

**基準ルール:** 連続したスリット状の通気口を設けるため、換気面積 75 m<sup>2</sup>  $\div$  m 以上を確保することが推奨される。

■計算式: 必要換気面積 (m<sup>2</sup>) = 床下外周の壁の長さ (m)  $\times$  75 m<sup>2</sup>

2, ねこ免震シリーズの通気量計算は次のとおりです。

通気面積の算出法については法的規定がありませんので、弊社では最も安全な「見付け面積」で計算しております。

ロングパッキンの様に、連続した、小径管通気口タイプの他社製品は、静圧減衰及び一方向通気に限定され通気量が減ずる傾向にありますが、ねこ免震シリーズの、エンブラ UFO-E、ねこ免震パッキン共、円柱の間を通気するので 360° 通気が阻害することは有りません。

【エンブラ UFO-E】 (仕様書参照)

UFO-E-EPV 一個当たり見附面積 = 15.27 m<sup>2</sup>/個

■計算式; (外周基礎の長さ (cm)  $\times$  2 cm  $-$  15.27 m<sup>2</sup> (UFO-E 見附面積)  $\times$  外周基礎の設置個数) / 外周基礎の長さ (m)  $\geq$  75 m<sup>2</sup> 長期優良住宅 OK

【ねこ免震パッキン】 (仕様書参照)

CAT-EPV (100  $\times$  200) 見附面積 = 16.18 m<sup>2</sup>/個

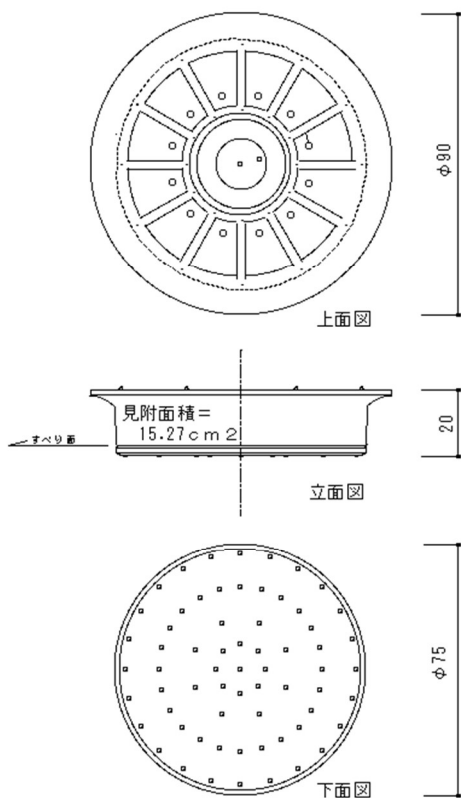
CAT-V12 (100  $\times$  120) 見附面積 = 9.32 m<sup>2</sup>/個

■計算式; (外周基礎の長さ (cm)  $\times$  2 cm  $-$  15.27 m<sup>2</sup> (CAT-EPV 見附面積)  $\times$  外周基礎の CAT-EPV 設置個数  $-$  9.32 m<sup>2</sup> (CAT-V12 見附面積)  $\times$  外周基礎の CAT-V12 設置個数) / 外周基礎の長さ (m)  $\geq$  75 m<sup>2</sup> 長期優良住宅 OK

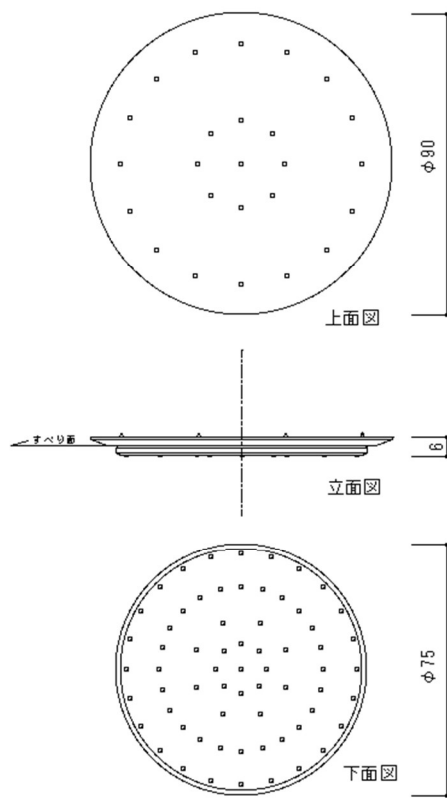
SMRC (株) 技術顧問

■摩擦アイソレータ詳細図（仕様書抜粋）

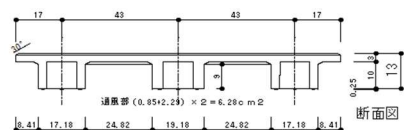
エンブラ UFO-E-EPV 図面



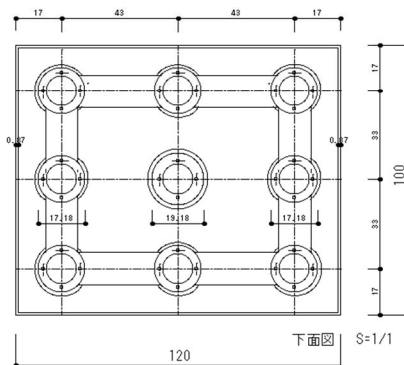
エンブラ UFO-E-EPA 図面



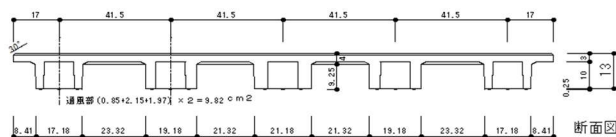
ねこ免震パッキン CAT-V12 図面



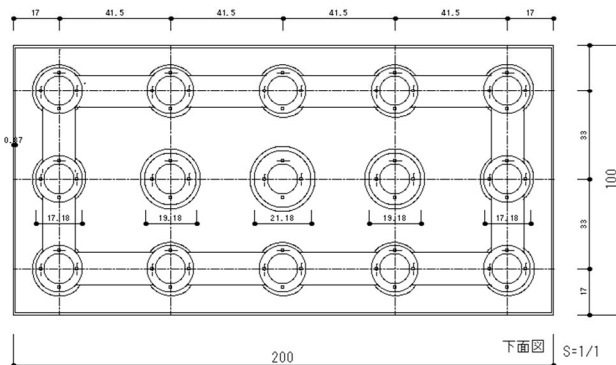
CAT-V12



ねこ免震パッキン CAT-EPV 図面



CAT-EPV



■ 通気形状、通気量比較 (参考)

